

新型コロナワクチンの2回接種が完了した皆さんへ

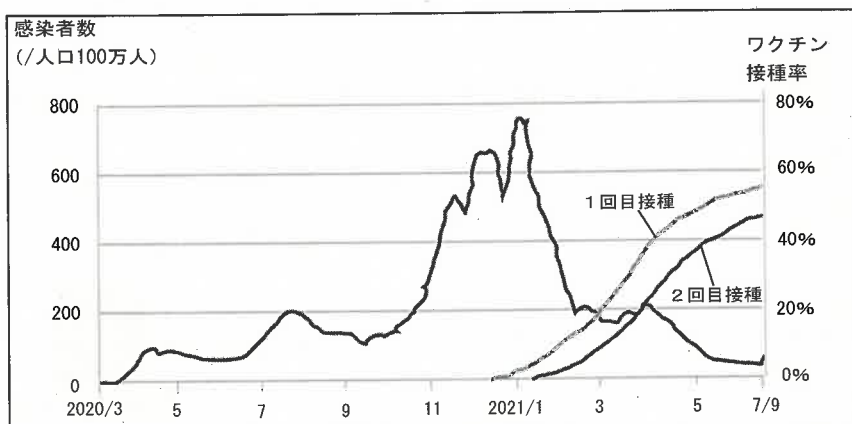
長野県立信州医療センター副院長 感染症センター長 山崎善隆

【新型コロナワクチンの効果（ファイザーワクチン）】

新型コロナワクチンは完全に感染を予防できるわけではありません。2回接種しても感染者と接触すれば、100人中8人は感染や重症化のリスクがあることを知ってください。また、デルタ変異株は感染率や重症化率が従来株や英国株（アルファ変異株）と比べ高いと報告されています。デルタ変異株はファイザーワクチンの2回接種でも感染予防効果は64%に低下します（重症化予防効果は93%と良好です）。

【世界における感染状況とワクチンの効果】

米国は世界で最も感染者が多い国です。2020年12月から新型コロナワクチン接種が始まり、2021年1月に新規感染者1日あたり28万人をピークにその後著しく減少しました（下図）。イギリスやイスラエルなどワクチン接種が進んだ国々でも、2回接種者が人口の30～40%を超えると新規感染者数は急速に減少しています。



新型コロナワクチンの効果	1回目接種後	2回目接種後
感染予防効果	46%	92%
重症化予防効果	62%	92%

米国における新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移とワクチン接種状況

ファイザーワクチンの効果（イスラエルの報告）

【国内および長野県の感染状況】

東京都は感染拡大から、7月12日～8月22日まで、4回目の緊急事態宣言を発出しました。デルタ変異株の流行と、夏休みやお盆で人の移動が増える時期が重なります。デルタ株は従来株や英国株よりも感染力が強いため、ワクチン未接種の中年層の重症化のリスクが懸念されます。長野県では8月に第5波のピークがくることに備えた感染対策が必要となります。

【新型コロナワクチンを2回接種した方の対応】

ワクチンを2回接種しても完全に新型コロナウイルス感染症の感染、発病を予防できるわけではありません。ワクチン接種が徐々に進んでいる段階では、ワクチンを接種した方も接種していない方も共に社会生活を営んでいくことになります。ワクチン接種後も基本的な感染予防対策を継続することが大切です。人と接する際にはマスクを着用し、最低1mの身体的な距離を保ちましょう。飲食の際は少人数・短時間・換気の良い場所で会話する際はマスクを着用しましょう。感染拡大地域などへの訪問は極力控えることが望ましい状況です。第5波の拡大を抑え、収束に向かえるよう皆さんにご理解とご協力をお願い致します。